



No. 17
1989. 11. 6

佐賀大学情報処理センター

内線 (2592)

1. 6650エミュレータの対応キーの変更について
2. 九大大型計算機センターとのファイル転送について
3. 学術情報センターの一時停止について

1. 6650エミュレータの対応キーの変更について

6650エミュレータの対応キーのいくつかを操作しやすいように変更しました。

No. 13のセンターニュースで紹介した6650エミュレータでは、**ENTER** キーが **C3** キーに割り当てられていましたが、今回、対応キーの変更により、**NEW LINE** キーに割り当てられています。

なお、**C3** キーはカーソルを次の行の無保護フィールドの先頭に移動させる **Tab** キーに割り当てられています。

〈 各種キーの対応表 〉

機 能	専用端末	P/C (VM, VX, UV, UX, CV, E, F, m)	P/C (RA, RX)
ENTER キー	NEW LINE	↵	↵
インサート・モード	CNTL + E	CNTL + E	CNTL + E
インサート・モード解除	CNTL + E	CNTL + E	CNTL + E
文字の削除	DEL	BS	BS
カーソルの右側文字列の削除	ERASE EOL	CNTL + K	CNTL + K
PF1 (HELP)	F1	F・1	F・1
PF2 (画面分割)	F2	F・2	F・2
PF3 (END)	F3	F・3	F・3
PF4 (RETURN)	F4	F・4	F・4
PF5 (FIND)	F5	F・5	F・5
PF6 (CHANGE)	F6	F・6	F・6
PF7 (UP)	F7	F・7	F・7
PF8 (DOWN)	F8	F・8	F・8
PF9 (SWAP)	F9	F・9	F・9
PF10 (LEFT)	F10	F・10	F・10
PF11 (RIGHT)	F11	ROLL UP	vf・1
PF12 (カーソルのコマンド入力行への移動)	F12	ROLL DOWN	vf・2
PA1	F13	HELP	vf・3
PA2	F14	-	vf・4
PA3	F15	/	vf・5
ATTENTION	CNTL + SFIFT + F1	専用端末と同じ	専用端末と同じ
カーソルの上下左右の移動	矢印キー	専用端末と同じ	専用端末と同じ

2. 九大大型計算機センターとのファイル転送について

九州大学大型計算機センターとのファイル転送は、6650エミュレータを起動し九大大型センターのTSSを開設したのち、九大大型センターのファイル転送コマンド（FEXPORT,FIMPORT）を利用して行うことができます。

(1) 本学センターのファイルの送信

本学センターのファイルを、九大大型センターに送信し順編成のデータセットを作成したい場合は、次のようにコマンドを入力します。

FEXPORT データセット名 ↵

また、区分編成のデータセットを作成したい場合は、次のようにコマンドを入力します。

FEXPORT データセット名(メンバー名) ↵

そうすると、次のようなファイル送信のためのメニュー画面が表示されます。

ファイル転送ユーティリティ (UP LOAD)			
(DG)	ファイル名	:	
< 送信形態 >			
送信モード/BINARY	圧縮/無	レコード/固定	
レコード長: 80			
F 1	実行	CNTL/F 15	キャンセル

① ファイル名の指定

送信したいファイル名を指定し、NEW LINE キーを押します。
そうすると、送信モードの選択にカーソルが移動します。

② 送信モードの選択

送信モードには、バイナリモード（画像データ）とアスキーモード（テキストデータ）があり、↑ キーまたは ↓ キーで選択し、NEW LINE キーを押します。
そうすると、圧縮の選択にカーソルが移動します。

③ 圧縮の選択

送信データを圧縮する（有）か、しない（無）かを上下の矢印キーで選択し、NEW LINE キーを押します。
そうすると、レコードの選択にカーソルが移動します。

④ レコードの選択

データを固定長（固定）で送信するか、可変長（可変）で送信するかを、上下の矢印キーで選択し、NEW LINE キーを押します。
そうすると、レコード長の指定にカーソルが移動します。

⑤ レコード長の指定

送信するデータのレコード長を指定し、NEW LINE キーを押します。
そうすると、ファイル名の指定にカーソルが移動します。

すべての指定がすんで、**F1**キー（実行）を押すと、ファイル転送が実行されます。ファイル転送をキャンセルするときは、**CNTL**キーを押しながら**F15**キーを押します。

※ 本学センターのファイルを送信するときの注意

英小文字は、送信すると半角カタカナに文字化けしますので、英小文字が含まれているファイルは、あらかじめエディタなどで英大文字に変更してください。

(1) 九大大型センターのデータセットの送信

九大大型センターの順編成のデータセットを本学センターに送信したい場合は、次のようにコマンドを入力します。

F I M P O R T データセット名 ↵

また、区分編成のデータセットを送信したい場合は、次のようにコマンドを入力します。

F I M P O R T データセット名(メンバー名) ↵

そうすると、次のようなファイル受信のためのメニュー画面が表示されます。

ファイル転送ユーティリティー (DOWN LOAD)		
(DG)	ファイル名	:
< 受信形態 >		
受信モード/BINARY	圧縮/有	レコード/固定
レコード長 : 0080		
< オプション >		
FILE_MODIFY/REPLACE		
F 1	実行	CNTL/F 15 キャンセル

① ファイル名の指定

受信するためのファイル名を指定し、**NEW LINE**キーを押します。そうすると、受信モードの選択にカーソルが移動します。

② 受信モードの選択

受信モードには、バイナリモード（画像データ）とアスキーモード（テキストデータ）があり、**↑**キーまたは**↓**キーで選択し、**NEW LINE**キーを押します。そうすると、圧縮の選択にカーソルが移動するか、オプションの指定に移動します。

③ 圧縮の選択

送信データを圧縮する（有）か、しない（無）かを上下の矢印キーで選択し、**NEW LINE**キーを押します。そうすると、レコードの選択にカーソルが移動します。

④ レコードの選択
データを固定長（固定）で送信するか、可変長（可変）で送信するかを、上下の矢印キーで選択し、**NEW LINE**キーを押します。
そうすると、レコード長の指定にカーソルが移動します。

⑤ レコード長の指定
送信するデータのレコード長を指定し、**NEW LINE**キーを押します。
そうすると、オプションの指定にカーソルが移動します。

⑥ オプション指定
既存するファイルを指定したとき、追加（ADD）または置き替え（REPLACE）かを上下の矢印キーで指定し、**NEW LINE**キーを押します。
新規に作成するファイルの場合は、置き替え（REPLACE）を指定します。

すべての指定がすんで、**F1**キー（実行）を押すと、ファイル転送が実行されます。ファイル転送をキャンセルするときは、**CNTL**キーを押しながら**F15**キーを押します。

3. 学術情報センターの一時停止について

学術情報センターの電気設備の保守点検に伴う停電のため、学術情報ネットワークの機能が下記の通り一時停止しますので、学術情報（N1）ネットワークが一時的に利用できなくなります。

停止日時：平成元年11月27日（月） PM8：00～PM10：00